



ニッコウキスゲ

岩手北部森林管理署
岩手県八幡平市荒屋新町 41-8
050-3160-5895

平成 24 年度 安全大会開催

「安全は一步先読む 余裕から
心と時間に ゆとりを持って」
平成 24 年度 国有林野事業安全スローガン

7月4日（火）安全大会を若者センターで開催しました。
署長の挨拶では、「当署の無災害記録は、目標である3499日にむけて8年8ヶ月無災害となっておりますが、請負事業では毎年のように災害が発生しております。当署のみではなく、全事業の無災害を願い、改めて気を引き締めていきましょう。」と挨拶がありました。
救命講話では、八幡平消防署 安代出張所の方より救命処置の手順を、「応急手当講習テキスト」を参考にしながら説明いただきました。その後、実際に心肺蘇生やAEDの使い方を体験しました。肋骨圧迫が思った以上に力が必要で、体験した方々は額に汗を光らせて、命を守る大変さを感じていたようです。最後に、職場を代表して新町森林事務所の佐藤 福美さんが安全宣言を行いました。
また、安全標語発表及び表彰では当署の渡辺貞幸さんが、下記の標語で局安全標語の最優秀賞に選ばれ表彰されました。



AEDの実技



表彰される渡辺さん



安全宣言 佐藤福美さん

局安全標語 最優秀賞・・・・・・・・渡辺 貞幸さん

「油断と無理はケガを呼ぶ 焦らず慌てず一呼吸」

・・・岩手北部署内・・・

最優秀賞 野場 和恵さん

「一呼吸 自分の周りを見わたして 危険に気付いて 無災害」

優秀賞 佐藤 春花さん

「目の前に 広がるみどり 吸い込んで 気持ち入れ替え つながる安全」

佳作作品

「慣れと油断から ひそむ危険 初心にもどって 安全確認」

「作業手順 守って護ろう 自身の身」



今年の花壇の様子

岩手北部署の前の花壇に花が咲きました。青森事務所に転勤された小笠原さんからお志をいただき受け継いだ花壇には、様々な花が咲いております。トマトの実もついてきて、食べ頃が楽しみな時期になりました。



平成24年度 森林教室開催

平成24年度の森林教室は、八幡平市安代小学校と田山小学校の5・6年生を対象とし、「森林と地球環境・森林と水源」をテーマに一年間学習して行く予定です。

田山小学校周辺の自然観察・森の働きの実験
平成24年5月24日



森の働きについての学習（安比高原）平成24年6月1日

熱心に植物を観察中



蝉のぬけがら
帽子が完成！！



子ども樹木博士に挑戦 平成24年6月24日（岩手山青少年交流の家）



1、野場先生の説明を聞く生徒達



2、樹木博士テスト問題



3、真剣に問題を解く生徒達



4、認定書発行

一番点数の良かったのは、30点満点中17問正解の安代小学校の女子生徒でした。

皆さんも、上の番号の木の種類分かりますか？（7 ホオノキ 8 イタヤカエデ 9 ヤマグワ 10 ミズキ）

.....安比の森から.....

先日、あっぴ高原「遊々の森」での森林教室で、エゾハルゼミの羽化の瞬間に出会えました。エゾハルゼミは、五月中旬～七月下旬まで聞くことができる中型のセミで、冷涼な地域のブナなどで構成された落葉広葉樹林に生息するそうです。安比では普通のこの声も、絶滅危惧種としている都府県が多いようです。気温が、20度以上になると鳴き始め、湿度を感じて泣き止むので、彼らの合唱が突然止まると雨雲がくると、自然学校の方が教えてくれました。（余談ですが、人工衛星の羽が宇宙空間に行ってから広がる様子は、セミの羽化をヒントに開発されたそうです。）

羽化の瞬間は、大人も子供も大興奮で、そっとじっと眺めていると、隣にいた子が「一秒ごとに生命が誕生しているね！」と興奮して話しかけてきました。子供の感性に感動し、小さな生命の誕生からエネルギーをもらった一日でした。

自然から癒し・感動・生きる知恵をいただき、生かされている幸せを感じる事は、人間が本来持っている感覚なのかもしれません。もともと、自然は仏教用語の自然（じねん）からきているようです。【じねん】とは、「自ずから然（しか）る」すなわち（あるがままの在り方）を意味するようです。遊々の森は、ヤナギランが見頃です。普段の生活から離れて、自然の中であるがままの自分を見つめなおしに出かけてみてはいかがでしょうか？



エゾハルゼミの羽化の様子